生産性向上人材育成支援センターのご案内

可能性がひろがる職場へ

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 福島支部
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers Fukushima Branch

生産性向上支援訓練

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進に資する人材の育成を支援するなど、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。

個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや、地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

（１）訓練実施場所
企業の自社会議室 など

（２）訓練時間数
6時間～30時間
（IT業務改善は、4時間～30時間）

（３）受　講　料（１人あたり・税込）
3,300円～6,600円
（IT業務改善は、2,200円～4,400円）

（４）主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善
工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題
既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加
マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の取得を主な目的としています。

IT業務改善
生産性を向上させるための手段としてITを利用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

- **現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。**
- **ＲＰＡを活用して業務を自動化したい。**
- **テレワークを導入し業務を効率化したい。**

【生産・業務プロセスの改善】
- 生産現場の問題解決
- ＲＰＡ活用
- テレワークを活用した業務効率化　など

- **従業員の仕事の効率化を促進したい。**
- **リスクを低減させる方法を学びたい。**
- **個人のノウハウを社内で見える化したい。**

【横断的課題】
〈組織マネジメント〉
- 組織力強化のための管理
- 業務効率向上のための時間管理　など

- **役割の変化への対応を学ばせたい。**
- **ベテラン従業員に指導の手法を学ばせたい。**
- **ベテラン従業員のOJTスキルを向上させたい。**

〈生涯キャリア形成〉
- 後輩指導力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割
- 効果的なOJTを実施するための指導法　など

- **顧客満足度の向上を図りたい。**
- **消費者の動向を営業に活用したい。**
- **インターネットを活用して販売促進を図りたい。**

【売上げ増加】
- マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- 提案型営業手法/実践
- オンライン営業技術　など

- **データ集計の作業を効率化したい。**
- **マクロを使って定型業務を自動化したい**
- **集客につながるHPを作成したい**

【ＩＴ業務改善】
- 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
- 集客につなげるホームページ作成
- テレワークに対応したセキュリティ対策　など

「まずは試しに１～２名の従業員に訓練を受けさせたい」といった場合には…
広く受講者を募集して実施する公開型の訓練も実施しています。他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

（2026.03）

生産性向上人材育成支援センターが
企業の人材育成をサポートします!!

高齢・障害・求職者雇用支援機構は「誰もが職業をとおして社会参加できる共生社会」を目指し、高齢者や障害者、求職者等の方々に対する様々な雇用支援施策を国に代わって実施する厚生労働省所管の独立行政法人です。
当機構では、全国の公共職業能力開発施設（ポリテクセンター・ポリテクカレッジ等）に「生産性向上人材育成支援センター」（生産性センター）を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成を総合的にサポートします。

人材育成に関する相談

センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策をお伺いします。

人材育成プランの提案

企業の課題に合わせて最適な人材育成プランをご提案します。

職業訓練の実施

企業ごとに設定した人材育成プランをもとに、職業訓練や指導員の派遣等を実施します。

利用者の声

生産性訓練

顧客満足度 99.2%（受講者）、96.3%（事業主）

（顧客満足度は福島県３センター令和６年度調査から）

東芝プレシジョン株式会社　様
・『データ活用で進める業務連携』
・『RPAを活用した業務効率化・コスト削減』を受講

・事業主の声

当社では、訓練受講以前から社内でDX推進に取り組んでいました。しかし、社内全体への浸透には課題があり、業務改善につながる具体的な成果には、まだ十分に至っていない状況でした。そうした中、ポリテクセンター福島よりご案内いただいた生産性向上支援訓練の活用を、令和4年度から始めました。
訓練を通じて、社内教育だけでは得られない多くの学びを得ることができました。他社のDX事例を知ることで、自社の取り組みを客観的に見直す視点が得られました。また、Power BIなどツールを活用する中で、社内課題の可視化と具体的な解決に取り組むことができたほか、RPAの活用により、業務改善につながる実践的な成果も得られました。
こうした新たな知識や技術の習得は、今後の業務に大きく役立つと感じております。訓練の受講後には社員の意識にも変化が見られ、自発的な行動が増えました。
全員参加で取り組んでいる当社独自の5S活動においても、今回学んだデジタルツールの活用が進んでいます。職場の5S活動だけではなく、各自が日常的に推進している業務の5Sも含めて、社内全体へ意識が浸透しています。
今後はDXに限らず、様々な課題解決に向けて、生産性向上支援訓練を継続的に活用していきたいと考えています。

・受講者の声

当社の業務は人手による作業が多く、集計されたデータが十分に活用されていない状況が続いていました。また、データの共有も不十分であり、業務効率に課題を感じていました。
「データ活用で進める業務連携」をオーダーコースで受講したことをきっかけに、社内でBIツール活用のための全社横断的なワーキングチームを立ち上げ、令和6年10月から令和7年9月にかけて、全社的な定着化と自走化の推進に取り組みました。すべての部署での定着には至っていないものの、活用が進んだ部署ではデータの「見える化」が進み、一定の成果を上げることができています。
また、BIツールを活用する中で、データの整理や前処理の重要性を実感し、その手段としてRPAが有効であると感じました。特に、データの並べ替えや結合など、データベース形式への変換においてRPAは非常に効果的であると考えています。こうした背景から、令和7年9月に「RPAを活用した業務効率化・コスト削減」をオーダーコースで受講しました。この訓練を通じて、RPAが人手による作業やミスを減らすための有用なツールであると改めて実感するとともに、業務効率化に向けた効果予測や費用対効果の算出など、他の業務改善活動にも応用できる知識を習得することができました。単なるツールの使い方にとどまらず、改善活動全体を俯瞰する視点を得られたことは、今後の業務推進において大きな収穫です。
今後も、訓練で得たBIツールやRPAツールの知識を社内全体で活用し、DX推進と業務改善を継続して進めていきたいと考えています。

access

福島職業能力開発促進センター（愛称：ポリテクセンター福島）
生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）
〒960-8054　福島市三河北町７－１４
TEL 024-534-3661　FAX 024-533-6610

ハロートレーニング 急がば学べ
「ハロートレーニング－急がば学べ－」とは、新たなスキルアップにチャレンジするすべてのみなさんをサポートする公的職業訓練の愛称とキャッチフレーズです。